

千葉県誕生150周年

第1回

ちば ガストロノミー AWARD

千葉を世界に誇れるガストロノミー県に！

千葉県初「ちばガストロノミー県計画プロジェクト」が始動！
 地域とつながり、千葉の食の魅力を最大限に表現している
 飲食店・生産者を発掘します。お店や料理、栽培品、加工品など
 幅広く、こだわりや価値を広く発信してみませんか？

「ちばガストロノミー AWARD」飲食店部門、生産特産品部門の中から、
 各部門ごとに大賞と特別賞の受賞者を選定！

飲食店部門
TOP 30



大賞 1、特別賞 5、TOP30を選定 (予定)

生産者部門
TOP 30



大賞 1、特別賞 5、TOP30を選定 (予定)

応募期間

2023年

10月2日(月) ▶ 31日(火)

応募方法



以下のURLまたはQRコードの
 応募フォームから応募
 (自薦・他薦問わず)
<https://chiba-gastronomy.com/>

※応募資格や詳細は裏面の「応募要項」をご覧ください。

gastronomy
 ガストロノミーとは？

美食学や美味学などと訳されますが、
 地域の風土、歴史、文化を料理に表現することを含みます。
 当AWARDでは、単に美味しさや美しさ・
 クオリティ・人気度だけではなく、
 地域社会との関わりに積極的な千葉県内の飲食店や、
 千葉の誇るクオリティの高い生産者を発掘し、
 「地域との連携や取り組み」「サステナビリティ」
 「フィロソフィー」等を「ガストロノミー」として
 総合的に評価します。

協力



お問い合わせ
 事務局

ちばガストロノミー県実行委員会
 ビズクルー株式会社

<https://chiba-gastronomy.com>
tanaka@bizclue.net



CHIBA GASTRONOMY AWARD

地域の風土や歴史、文化を料理に表現する「ガストロノミー」の概念を深く理解し、この理念を体現し、地域社会との関わりに積極的でクオリティの高い事業者を「飲食店部門」「生産者部門」に分けて発掘します。公平な評価基準を設けTOP30を選出し、その中から大賞、特別賞を選定します。

応募期間

2023年10月2日(月)～10月31日(火)

応募資格

個人・法人・年齢・国籍を問いません。自薦でも他薦でもエントリー可能です。

募集部門

飲食店部門・・・千葉県内で営業している飲食店

生産者部門・・・千葉県内で農海産物・特産物を製造する生産製造者

応募方法

以下のURLまたはQRコードの応募フォームから
エントリーしてください

<https://chiba-gastronomy.com/>



スケジュール

～10/31	募集終了
11/1～	審査開始
12/後半	各部門TOP30をウェブサイト上で公開
～1/31	大賞・特別賞の選定
2/中旬	パーティー会場でのAWARD受賞式(幕張を予定)

審査員紹介

(敬称略・50音順)



審査委員長 萩原 勇作

株式会社バンフィックプロジェクト
代表取締役社長 CEO



有働 政博

株式会社ティエフケー
Executive Sous Chef



小倉 秀一

株式会社いまでや
代表取締役社長



ゲスト審査員 西内 ひろ

タレント・
宗像国際環境会議アンバサダー



久保 健

株式会社ベイエフエム
代表取締役社長



菅原 裕輔

菅原工芸硝子株式会社
代表取締役社長



山本 真紀子

Webメディア
「ADVENTURE KING」編集長・
ワインエキスパート

総合プロデューサー
ちばガストロノミー AWARD
審査委員長
全体企画・運営

萩原 勇作

株式会社
バンフィックプロジェクト
代表取締役社長 CEO

2003年、千葉県佐倉市でイタリアンレストラン「オリベート」開店。他、千葉県や茨城県を中心に飲食店・食物販店を展開。2019年、ローマ教皇フランシスコを迎えて開催された在日パチカン大使館公式昼食会の総合プロデュースを担当。日本のレストランで唯一ローマ教皇への料理提供を行う。2022年2月、成田国際空港でのJAL&ANA史上初イベント「STAGE NARITA」の総合プロデュースを担当。同年6月、えちごトキめき鉄道リゾートトレイン雪月花のアドバイザーに就任。同年11月、国内のトップアーティストが集結した皆既月食アートフライトを総合プロデュース。閉館後の成田航空博物館を活用した「成田空港ダイニングミュージアム」を総合プロデュース。

事務局・全体管理

上坂 理

株式会社地域会議
代表取締役
地方創生ビジネス
プロデューサー

外資系音楽放送局、TAC株式会社経営企画室を経て、会計事務所・シンクタンク等にて中小企業向けの業務コンサルティングに従事。

2005年に山口県に移住し、自然エネルギー利用技術の環境ベンチャーに経営参加。2010年に千葉県に戻り経営コンサルタントとして独立。経済産業省・中小企業庁が全国に設置した無料経営相談所「よろず支援拠点」の千葉県チーフコーディネーターを7年間務め、県内の約1,000社に経営支援を実施。2022年3月に当職を退任し、現在は千葉県の地方創生に特化した株式会社地域会議を設立。県内のあらゆる行政機関・公的支援機関・金融機関と強固なネットワークを構築。